

平成28年第4回議会定例会（諸般の報告）

開会に当たり、諸般の報告を申し上げます。

はじめに、本日、午前5時59分に福島県沖を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生しました。

本市の震度は3でした。

この地震により、千葉県九十九里・外房、内房地域を含む太平洋沿岸地域に津波警報、注意報が発令されております。これらの地域に被害が出ないことを願っております。

次に、「北千葉道路早期整備に関する要望」について申し上げます。

国道464号北千葉道路は、東京外かく環状道路と成田国際空港を最短ルートで結ぶ本市にとって開通が待たれる大変重要な道路です。

昨日の11月21日月曜日に、森田千葉県知事及び他の沿線6市長等と国土交通省において石井国土交通大臣と面会し、早期整備に向け、北千葉道路の全線国直轄編入及び有料道路事業活用について、秋本議長とともに直接要望してまいりました。

現在北千葉道路は、全体約43kmのうち、未着手となっている外環道と接続する市川市から鎌ヶ谷市までの約9kmの区間について国直轄の調査が行われ、その調査状況の報告において広域高速移動強化の確保が提示されました。

この機能を確保するためには、小室インターチェンジ以西の西側区間を専用部と一般部を併設した規格の高い道路で整備し、さらに早期整備実現のために有料道路事業制度を活用することが必要と考え、当該要望をしたところです。

石井国土交通大臣からは、「千葉県と千葉市、高速道路会社などのメンバーによる幹線道路協議会を年内に開催し、有料整備案をまとめようと考えている。」「北千葉道路はネットワークとしては非常に重要」と回答をいただき、早期整備に向け前進したものと受け取っております。

今後も情報収集に努め、千葉県及び沿線市と協力し北千葉道路の早期整備が実現するよう努めてまいります。

次に、「重度心身障害者医療費助成の助成誤り」について申し上げます。

重度心身障害者医療費助成制度につきましては、重度の心身障害児者が病院にかかった際の医療費のうち、健康保険適用分の自己負担金を助成するもので、保険診療による医療費から、高額療養費や附加給付金など健康保険より支給される額を除いた自己負担額を助成するものです。

このたび、平成26年6月に受付した案件において、助成金の算定の際に、高額療養費の限度額の取り違えによる控除漏れ等を原因とする過払いが、平成28年1月に判明しました。

これを受け、平成26年度支払い分、全2,459件を再確認したところ、さらに7人分の過払いを確認しましたので、平成23年度の申請分まで遡り、全ての処理状況を確認した結果、平成23年度から平成26年度の4年間で、過払いが44人、延べ88件、総額67万9,008円、過少払いが11人、延べ16件、総額21万8,072円分あることがわかりました。

今後の対応といたしましては、市の算定誤りによる過少払いの方には、平成23年度分からの過少分を助成することとし、過払いと

なっている方には、返還を求めることとなります。

市民の皆様には、ご迷惑をおかけすることとなり、大変申し訳なく思っております。

今後は適正な事務処理に努めてまいります。

次に、「住民票等のコンビニ交付サービスの開始について」申し上げます。

市では、市民サービス向上のため、マイナンバーカードを使用しコンビニエンスストア等の店舗内に設置されているマルチコピー機により住民票の写しを取得できるコンビニ交付サービスを平成29年1月4日から開始します。

また、これに併せて印鑑登録証明書も取得できるよう今議会に条例改正案を提案しています。

取扱店舗は、全国のコンビニエンスストアのマルチコピー機の設置されている店舗で、取扱時間は午前6時30分から午後11時までを予定しています。

住民票の写しや印鑑登録証明書の交付件数は、平成27年度で約4万7,000件あり、身近なコンビニエンスストア等でもこれらの証明書等が取得できるようになることは、市民サービスの向上につながると考えています。

なお、このサービスを利用するためには、マイナンバーカードが必要となりますので、カードの普及と併せて市民に周知してまいります。

次に、「しろい工業団地PR・地方創生活活性化事業」について申し上げます。

国の地方創生加速化交付金を活用したこの事業は、当市における

産業、経済の拠点であり、市民の雇用の場でもある白井工業団地を活性化させることで、地域経済の活性化、地域雇用の確保及び産業振興を図るため、様々なイベントやプロモーションを戦略的に実施するものです。

その一環として、各企業のPR動画の制作をはじめ、工業団地と工業団地内企業の製品、技術等をまとめて発信するホームページや北総鉄道を中心とした沿線広告、日経テクノロジーオンラインへの記事体広告でWEB配信によりプロモーションするほか、白井市就職フェア合同企業説明会や市民を交えた産学官交流イベントとなる白井工業団地産業フェスティバル等のイベントを開催します。

11月19日土曜日に開催された白井市就職フェア合同企業説明会では、29社の企業参加があり、若者から高齢者まで88名の方に参加いただきました。

今後の地域雇用につながればと期待しているところです。

市では、今後も白井工業団地協議会と連携し「豊富な業種」や「高い技術力」が集積する「千葉県で企業数最多の内陸工業団地」である白井工業団地の活性化を図り、白井工業団地の売り上げが伸び、雇用が増えることで「働く場」としての工業団地が市民の皆さんに認知され、「住んでよかった」「住み続けたい」白井市となるよう、努めてまいります。

最後に、「『しろいの梨』のブランド化」について申し上げます。

本年第3回定例会で、9月にモンゴル国で行われた商談会への参加及びテスト販売について報告しましたが、実施した結果、現地のスーパーマーケットから求めがあり、梨業組合によるモンゴル国への「しろいの梨」の輸出が決定しましたので報告します。

また、11月24日木曜日にウランバートル市内のホテルで在モンゴル国日本大使館が主催する、平成28年天皇誕生日祝賀レセプションが開催されます。その会場に「しろいの梨」のブースを設け、モンゴル国で販売を手掛ける現地スタッフが試食とPRを行うこととなりました。

この祝賀会は、天皇陛下のご健康を祈念し毎年この時期に開催され、モンゴル国の政府高官や現地で活躍する邦人など約500名が参加するレセプションと聞いております。

県内トップの生産量を誇る「しろいの梨」のさらなるブランド化に向け、様々な関係者と協力しながら、今後も積極的に取り組んでまいります。

以上で諸般の報告を終わります。